

リニア・経協開催するも具体的な回答拒否！ JR東海経営陣の不誠実な姿勢が露わに！

「リニア中央新幹線」構想に関する申し入れ（「JR東海労申第2号」）

会社は7月31日、「第1四半期決算」の経営協議会において、「リニア中央新幹線」に関する申し入れについて回答しました。この時期に経営協議会を開催するのは異例であり、JR東海労の申し入れに経営協議会で回答するのも初めてのことです。さぞかし丁寧に回答するものと期待していましたが、なんと会社の回答は、14項目の具体的な説明事項には一切答えず、一括総論的に考え方を明らかにしただけでした。まさに、「経営協議会で回答した」という事実を残すためにのみ開催されたと言っても過言ではありません。

会社回答の要旨は、「これまで、経協を通じて、バイパスを推進しても、安全・安定輸送の確保、競争力強化に必要な投資、安定配当を継続する健全経営を維持できると説明している」「公表できる資料やデータ等については、すべて適時適切に公表している」という内容です。

具体的に質問した、経済性、技術的課題、環境への影響、労働者への影響などについては、一切回答しませんでした。5兆1千億円もの莫大な資金を投入して事業を展開する企業・経営陣の姿勢とはとても思えません。

ところで、沿線住民や学者などが中心となって結成している市民団体、リニア・市民ネットから連絡があり、会社に提出していた、11項目の質問・要望に対し、回答していたことが明らかになりました。その回答は、驚くことに、JR東海労に回答した内容とほとんど変わらないものでした。リニア・市民ネットは各地で学習会を開催し、「リニア中央新幹線」に疑問を投げかけています。この8月1日～2日には、南アルプスルートの特設掘削予定地で、現地学習会も開催され、私たちも参加することになっています。まさに、そのことを念頭に置いて回答したとしか思えません。

私たちは、このような不誠実な姿勢を許さず、引き続き協議を求めています。（細部は業務速報No.679参照）

「公表データ以外は質問を受け付けない！」
バイパス必要性・目的・意義のみを強調！
という姿勢で国民的合意が得られるのか？